

水産生物分布調査 (No. 2 ハタハタに関する調査)

十三 邦昭

稚 魚

1989年5月には、鰺ヶ沢町中村川河口から約500m上流までの間において、シロウオすくい網で体長3～4cm位のハタハタ稚魚が大量に採捕されたが、今年は全く見られなかった。

成 魚

ハタハタは沖合では底曳網、沿岸では刺網、小型定置網で漁獲されるが沖合では索餌群、沿岸では産卵接岸群が漁獲対象となっている。

1990年における底曳網によるハタハタ漁獲量は、表1、図1に示したとおりで、深浦港では1.7トン、鰺ヶ沢港では6.5トンで、ともに近年の不漁年の中では比較的漁獲の多かった昨年よりはやや下回った。

一方、沿岸での産卵接岸群は、図2に示したとおり鰺ヶ沢地先では12月7日に刺網で2.2kgの初漁があった。この初漁は昨年より7日早く、不漁時代の1976年以降では1976年に次ぐ早い初漁で、その後の漁況が期待されたが、時化などの影響もあって期待に反し、あまりまとまった漁獲はみられなかった。まとまった漁獲があったのは、例年であれば終漁となっている12月26日からで5日間続いたものの、12月30日には終漁となった。沿岸の漁獲量は2.1トンで昨年の約52%であった。

操業隻数は小型定置網2ヶ統、刺網約30隻程度であった。

魚体は体長13～23cmの範囲でモードが18cmに認められ、大体昨年並の大きさであった。

このほか、北金ヶ沢沿岸でも近年珍しく12月27～30日までの間に延3隻で0.4トンの水揚げがあった。

県南部の大間越、岩崎沿岸では水揚げがなかったものの、聞き取りによると大間越では刺網が2～3隻、岩崎では刺網が4～5隻操業が行われ、多く漁獲した船で大間越では250kg、岩崎では40kg位で、大間越では昨年をやや上回ったが岩崎では昨年より悪いとされている。

漁獲金額は鰺ヶ沢沿岸の刺網によるものが594万円で昨年の531万円を63万円程上回った。価格は雌雄込みでkg当り平均2,770円で昨年の約2倍の高値であった。

また、沖合の底曳網による漁獲金額は鰺ヶ沢では2,064万円で昨年の1,780万円を284万円程上回った。深浦では295万円で昨年の336万円を41万円程下回った。底曳網のkg当りの価格は鰺ヶ沢では平均3,177円、深浦では1,689円で、鰺ヶ沢の価格が目立って高かったが、これは正月を控えての価格の高い12月20日前後に集中して漁獲があったためと考える。

表1 底曳網による沖合のハタハタ年別、月別漁獲量

単位：kg

	1	2	3	4	5	6	9	10	11	12	計
1979	164	37	149	31	236	29	13	3,201	243	216	4,317
80	152	0	0	108	0	106	0	236	5,346	1,895	7,843
81	0	62	0	0	5	106	80	0	1,945	2,386	4,584
82	895	0	2	74	445	395	0	596	4,307	1,699	8,413
83	586	297	285	333	394	0	8	1,821	4,780	2,257	10,760
84	42	1	0	18	2	5	1	27	74	119	289
85	1	0	2	2	56	520	4	53	5	1,995	2,638
86	49	106	0	3	185	765	22	197	572	402	2,301
87	49	2,084	3	363	284	86	4	3	1,010	720	4,605
88	17	234	633	69	277	729	20	2,027	2,058	722	6,786
89	54	3	220	471	600	92	16	780	2,969	6,258	11,462
90	33	72	6	408	371	376	1	543	920	5,513	8,244

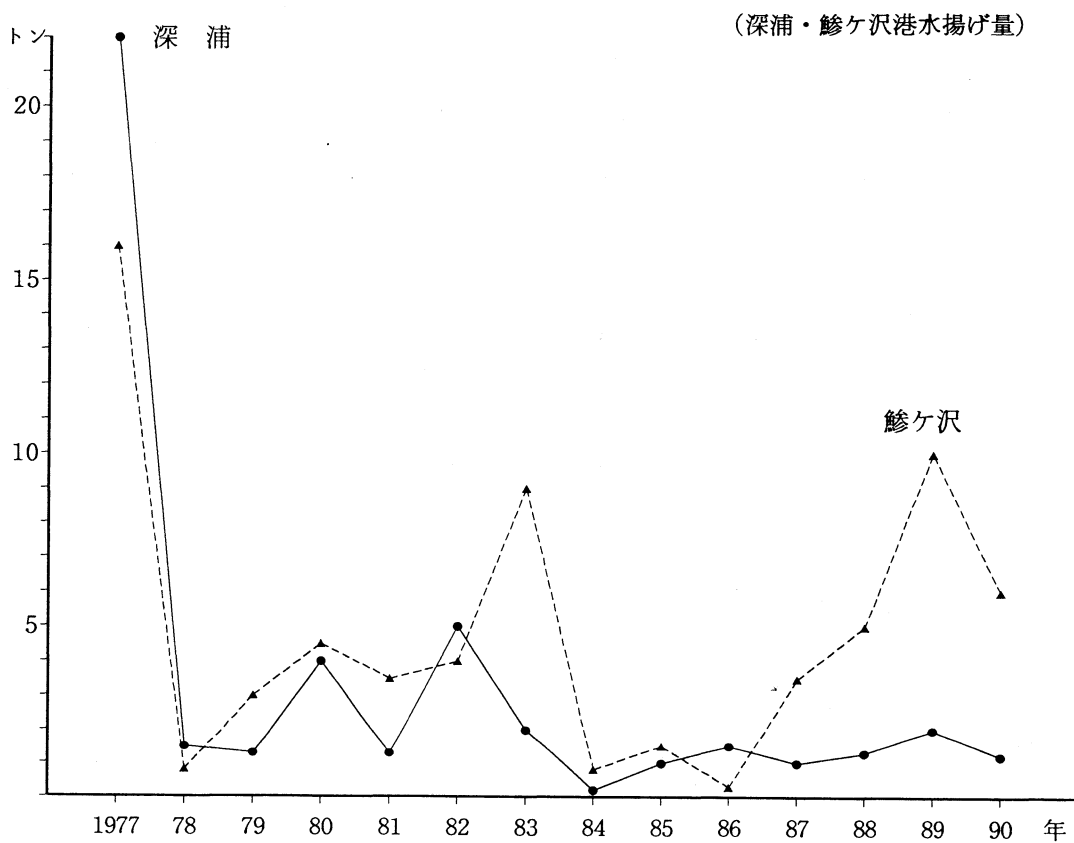


図1 底曳網（沖合）による地域別ハタハタの漁獲量

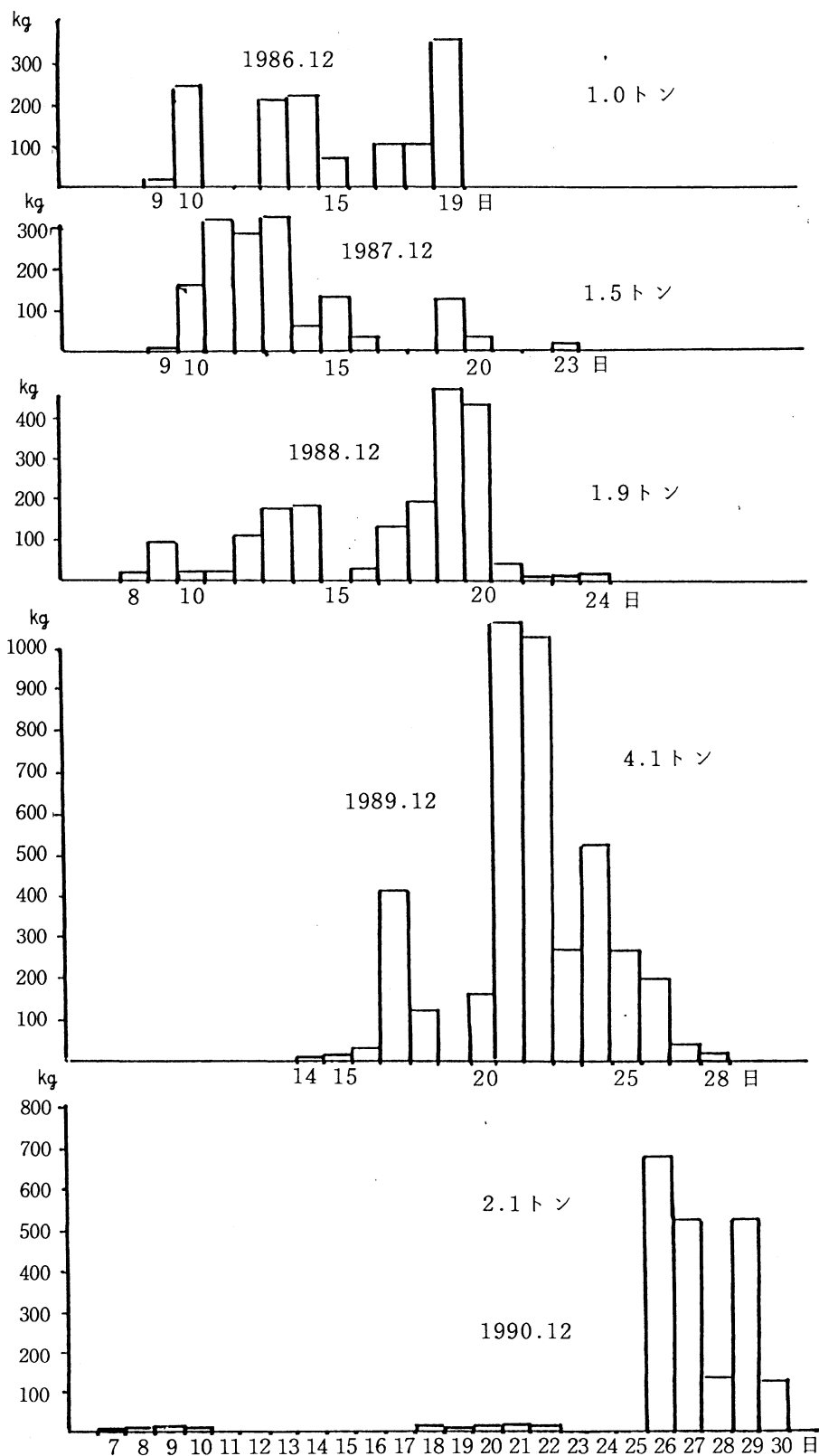


図2 沿岸の年別、日別漁獲量(鰹ヶ沢地先・刺網)

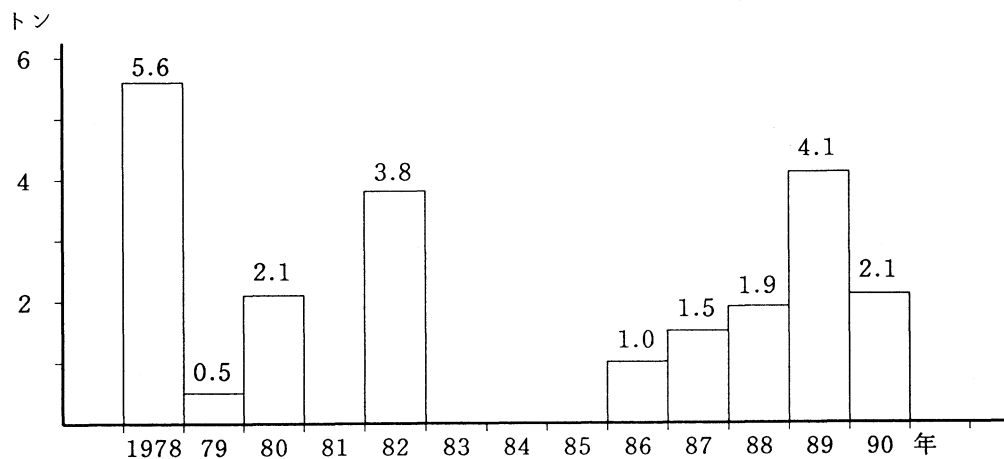


図3 年別、沿岸漁獲量

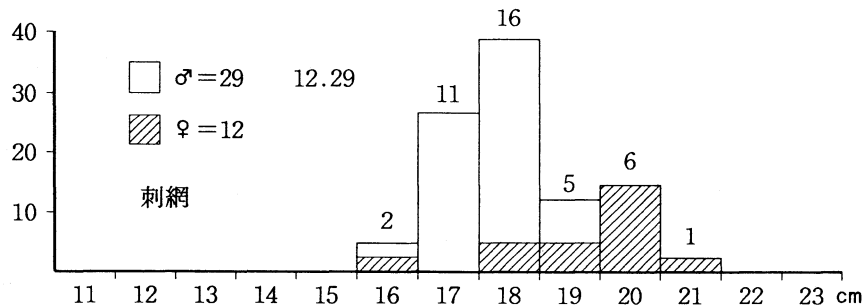
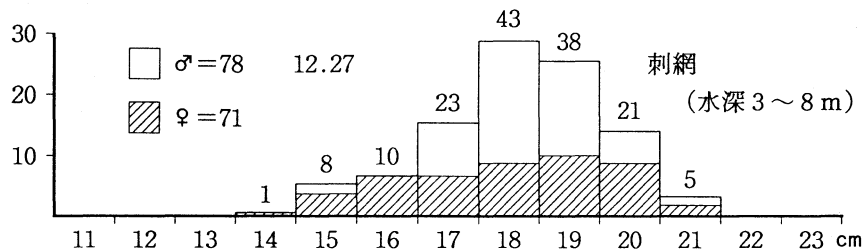
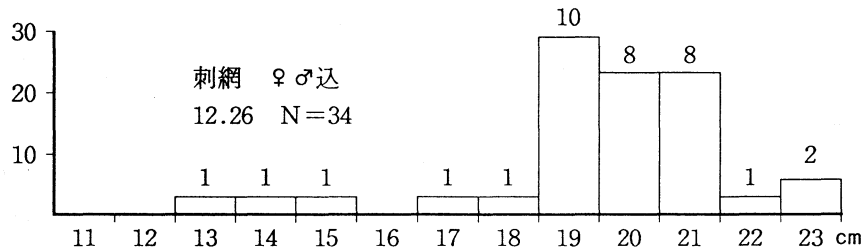
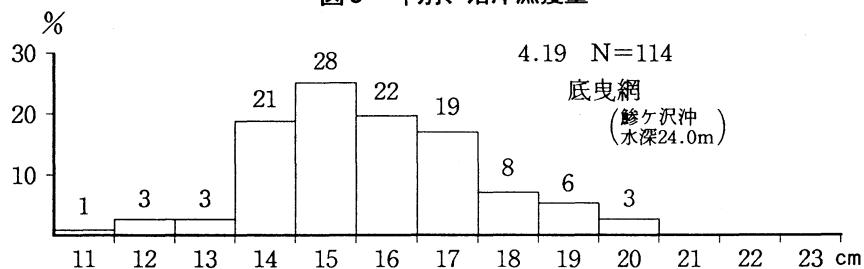


図4 1990年のハタハタ体長組成